

令和3年度 第3回摂津市立千里丘小学校学校協議会 要点録

令和3年11月5日(金)18:30~20:30

於：千里丘小学校 東棟1階会議室

記録：紅林 陽子(事務局：本校教頭)

出席委員：中田 康之、以登田 毅、寺田 洋子、青木 みゆき、武友 加代子、藤浦 清美、前馬 晋策、橋爪 恵子

欠席委員：佐野 英和、木下 さひ子

(敬称略)

学校出席者：校長 撰田 裕美、教頭 紅林 陽子

1. 校長より挨拶

2週間前くらいから朝晩の気温が下がってきた。昼は暑いが朝夕は冷える。風邪の症状のある児童がちらほら出ている。最近、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきた。マスク着用など一定の感染予防対策は続けるものの、調理実習など今まで制限のかかっていた教育活動も実施しているところである。延期になっていた林間学校、修学旅行も近々実施する予定である。昨年、今年とコロナの影響を大きく受けてはいるが、児童は落ち着いて学習しており、大きな混乱は見られない。

今日もご意見いただきたく思う。

2. 学校の様子

前回以降の学校行事を校長より紹介。

- 9月29日(水)説明文の研究授業(1,2年)
- 9月30日(木)個別の指導計画 共有確認
- 10月1日(金)芦森工業出前授業(3年生)
- 10月4~15日T.L.(ティーチャー・ラーニング)ウィーク
- 10月6日(水)セーフティパトロール(地域教育協議会主催)
- 10月13日(水)稲刈り(5年生)
- 10月14日(木)摂津市防災危機管理出前授業(4年生)
- 10月19日(火)体育授業研究(講師：COSMOスポーツクラブ)
- 10月20日(水)クラブ活動
- 10月23日(土)運動会
- 10月27日(水)説明文の研究授業(4,5年)
- 11月1日(月)摂津市市場郵便局出前授業(2年生)

●11月4日(木)2学期生活アンケート

以上、前回の学校協議会終了後に実施した行事をご紹介します。学校ではこのような内容に取り組んできました。

(委員)防災の出前授業は昨年度もやっているということだが、その前の年はどうだったのか。

(校長)昨年度から新しい学習指導要領に改定された。それに伴い、4年生の社会科で防災のことについて学ぶ単元があり、取り組んでいる。

(委員)セーフティパトロールの時間は何時からだろうか。また参加したい。

(校長)5時間目が終わった14時から整列し、下校が14時過ぎになっている。

(委員)積極的に外部から講師を招いている印象だ。大阪成蹊大学の辻村教授は、今の学習指導要領を進めるための学習について丁寧に教えてくださっている。ただ、講師を招致して学ぶことはとても良いと思うが、講師料などの費用が気になる。COSMOの体育の指導もボランティアというわけにはいかないと思う。学校に研究のために割り当てられている予算はどれくらいなのか、心配になってしまう。

(校長)市の教育委員会の事業で特色ある校内研究に対する補助金があるが、これは提出した計画書をもとに査定がある。千里丘小学校は昨年度、今年度と2年連続で重点校として指定されており、他校よりは多く補助金を頂いている。ただ、外部講師をたくさん招けているのは、それだけではない。大阪成蹊大学についてはパートナーシップを結んでおり、2回は無料で来ていただくことができています。それ以上は先ほど申し上げた研究補助金から支払っている。また、COSMOについては今まで幼児教育に力を入れてこられたが、今後は小学生の教育にも力を入れていく方向であり、何ができるかをともに考えるため、現在講師料はほとんど発生していない。ただし、今後もこのような形で来ていただけるとは限らない。

(委員)子どもは地域から登校している。その地域と連携していることは素晴らしいことだと思う。芦森工業や郵便局の出前授業も、どんどん活用して進めていくといいと思う。

(校長)2年連続で重点校の指定を受けることは難しいかと思っていたが、体力向上など新しいことに取り組もうとしていることを評価していただき、重点校の指定を頂いた形だ。

(委員)焦点化することが大事。ここぞと思うところにお金かけて、ご協力いただけたところではご協力を仰ぐようにし、地域の人材をたくさん活用するようにしたいと思う。火起こし体験も一度見させていただいたが、すごくよかった。

(委員)仰っていただけたら、またご協力はできる。

(委員)今回の指導要領は「社会に開かれた教育課程」と銘打っている。地域の企業、いろいろな団体も含めて、社会とつながるといい。いろいろな機会に取組みを進めていっていったら、手を挙げてくれる企業や団体が他にもあるかもしれない。

(校長)いろいろな人に接することで子どものものの見方も変わる。

(委員)“本物”にお話ししていただく経験は思い出に残る。もしかしたら進路選択にも大きな影響が出るかもしれない。いろいろな人に会う経験をさせてあげてほしい。

(委員) 以前PTAをやっていたときには、「教育活動補助」としていくらか計上していたと記憶している。観劇の補助もしていた。今はどうなっているか分からないが。

(校長) 観劇の補助は今もいただいている。この15日に音楽鑑賞があるが、PTAから補助していただく予定である。

(委員) 校庭にあるポストが色褪せている。ポストの色を勘違いする児童がいるかもしれないので、補修できるのであれば色を補修しては。もう少し色をリアルにしてもらえたら、と思う。

(委員) 2年生が校内で郵便局の体験をするときに活用している学校もあると聞いたことがある。参考にしてみてもいいと思う。

3. 協議

(校長) まず、運動会の様子をお伝えしたい。今年度はコロナの関係で委員の方をお招きすることができなかった。

従来のように全校生揃っての開催は難しく、検討の末、低・中・高学年に分かれての分散開催という形になったが、保護者の方のご理解もいただいた上で実施した。

内容は団体演技と徒競走。

どの学年もやり切った、という達成感にあふれており、成長を感じた。

時期については、暑さ対策から11月の第1土曜に実施していた。練習で熱中症になる危険性が減った一方で、当日に寒い、ということが課題である。昨年度、春開催のご意見を頂いたため企画委員会で提案を試みたが、教員たちが柔軟に考えられなかったこともあり、例年通りの秋開催となっている。開催時期の問題と、内容の問題がある。今年度はリレーも実施しなかったが、内容としては十分見ごたえのあるものであった。

運動会の目標として掲げているのは次の3点、

- ・日頃の授業で学んだことを発表する場
- ・他の学年の演技を見ることで交流を行う場
- ・安全に留意しながら児童が主体的に参加できる場

練習には運動会の3週間前から取り組んでいる。例年、運動会の練習に取り組んでいる期間は、児童たちが落ち着かなくなる傾向がある。今年は「この時間にめざすこと」をはっきりさせ、「何回やるのか」という見通しも持たせながら練習をする事を目標に指導を心がけた。

「走」についても、COSMOさんから指導をいただいた。手の振り方、カーブが終わって直線になったところでスピードを上げる、など、走るときのポイントをしっかり押さえて指導している。

時期の問題、内容の問題、どのように目標を持たせるか、についてご意見をいただきたい。

(委員) それぞれの練習の目標をきちんと設定されていた、ということはいいと思う。運動の苦手な子にとっては苦痛。「速いのがいい」という尺度では全員に達成感はなかなか味わわせられない。自分の目標に対してど

うだったか、と振り返ることでそれぞれに満足感が持てると思う。

(委員) 10数年前になるが、「やらされてる運動会」から「自分でやる運動会」をめざしたことがある。目標自体を子どもの口から引き出し、どうだったかふりかえる、という活動。“主体性”を大切にしたい。

運動会の種目を徒競走と団体演技に絞るなら、それはそれでいいと思う。それぞれのねらいに沿った内容を決めていけばいい。綱引きがないとダメ、玉入れがないとダメ、ということはない。

(校長) 教師は「あれも」「これもやりたい」と以前やっていたことに縛られがちな傾向にある。

(委員) リレーは盛り上がる。リレーはあってもいいかもしれない。

(校長) リレーはバトンを渡す際に交錯する可能性があり、マスクを外している状況も鑑みて実施しなかった。

(委員) コロナが収まってからもこのままでいいかとは思いますが、リレーは取り組んでもいいかと思う。

(委員) コロナが収まったら先生方で再度検討していただけたらいいと思う。

(委員) 孫の運動会は春開催だった。1年生とかは大変そうだったが、出来ないことはないかも、と思う。

(委員) 摂津市では春に開催しているところはないのか。

(委員) 今年度はなかったのではないかな。

(校長) 感染の状況によるかな、と思う。

(委員) 運動会を何のためにするのか、目的をはっきりするべきだ。“お祭りにして、一日かけて楽しいことをする”というのであればそれはそれでよし。“体育の授業の成果を発表する”というのであれば、その達成のために実施すべき。小学校において正直なところ、「走」の指導が十分にされていないところも多いように感じている。また、団体演技のダンスは“表現”とされているが、実際のところ表現なのか疑問な部分もある。目的によって運動会の在り方も変わってくる。時期のことよりも、教員たちに目的を問い直すことの方が大切ではないか。種目を絞ることに賛成。あまりにも運動会の練習に時間をかけ過ぎていたとかつての自分自身のことを考えると反省することが多い。

(校長) 指導は大事だと思う。走るのも、自分の力だけで走るのではなく、指導があってこそその成果。午後はクラスごとに担任と児童が振り返りをしたのだが、「キュウリを思い出して頑張った」「カーブからの直線に力を入れて走った」など、今までの取組みをキチンと振り返れる場面も見ることができた。

(校長) 続いて、学校教育自己診断アンケートの項目についてご意見を伺いたい。大阪府の示しているものを参考に作成している。

児童は3～6年生対象に29項目、保護者対象に28項目、教職員に62項目。11月下旬に保護者に配付、12月上旬に回収する予定。経年比較をしやすいように、昨年度から引き続き質問するものも多い。

児童は3～6年対象としているが、どうだろうか。

(委員) 以前勤務していたときは、高学年対象に実施することが多かった。

(委員) 今年度は児童に「朝ごはん」について質問しないのか。

(校長) 以前は朝ごはんの喫食率が低く、学校の課題として取組みを進めていたことがあり、質問していた。今現

在、学校で指導している項目についてのみ質問するように、項目を絞っている。

(委員) 学校で取り組み、指導している内容については質問する必要がある。しかし、指導もしていないことを問うのでは、実態調査になってしまう。学校教育の自己診断としてき~~く~~調査するのであれば、指導の成果を問う形で項目を絞っていかないといけない。

(校長) 朝ごはんの喫食については、保護者には啓発を継続して行っているので、保護者対象のアンケートでは項目に挙げている。一方で児童への指導はそこまで行われていないことから、児童への項目は削除した。

(校長) 教員の質問項目を増やした。学校経営計画に基づいて、取り組みの成果を問うために行っている。また、人材育成が柱となっているので、研修に関する項目を増やした。

保護者に対するアンケートで、問い方が分かりにくい、適切でない、などといった項目はないか。

(委員) 千里丘小学校が力を入れている取り組みの一つとして、特別支援教育があると思う。また、重点として取り組んでいる体力向上の取り組みなどについても、保護者に対して問う項目があったりしても良いと思う。

(委員) 回答の形式はどうなっているのだろう。

(校長) 保護者と教職員は4段階、児童は2段階で回答することになっている。

(委員) 「分からない」という項目を作るのも一つ。興味・関心がない人がどれくらいいるのかが分かる。HPの発信についても、知らない人が多いことによる否定的回答の多さだったのかもしれない。こちらは発信しているつもりでも、伝わっていないこともある。「分からない」という項目を作ること、周知不足も分かるのでは。

(校長) それは保護者対象についてだろうか。

(委員) 児童についても、「分からない」の選択があってもいいのかもしれない。「相談する人がいる」という項目についても、スクールカウンセラーなどが分かっている児童もいるかもしれない。「運動会が楽しい」も「分からない」かもしれない。ただし「分からない」という回答が少ない方がいいのは確か。学校がうまくいっていないときに、無回答や「分からない」という回答が増える。

4. その他

(委員) 学校協議会を各学校がどれくらい実施しているのか聞きたい。千里丘は現在第3回で、立派だと思う。全学的にどのような状況なのだろうか。

(校長) 1回開いている学校が数校。まだ開いていない学校が数校、だと聞いている。

(委員) そういう状況を聞くと、余計に立派だと思う。地域の結びつきが希薄になってきている。PTAが活動できなくなっている学校もある。国も地域コーディネーターを中心に、地域と協働した学校づくりに取り組んでいこうとしている。今後、コミュニティスクールになり得るとしたら、この学校協議会が中心。移行できるとしたら、この学校ぐらいしかないと思う。新しいものを作ろうという思いが、校長先生にはあるのではないのか。

(校長) 「地域の中の学校」といわれるが、千里丘は地域が大きくなろうとしている。全国各地から転入生も増えて

おり、児童も増えている。価値観、地域性も多様化していくに伴って、地域が抱えてきた従来からの「学校」のイメージが大きく変わっていくことが予想される。新町に人がどんどん移り住んでいるが、自治会も新しい町にはない。過渡期にある状況を考えた時に、学校をよりよくしていくために何ができるのか。地元の方は千里丘小学校を愛してくれている。持続可能な学校にしていくために、今考えていけないといけないこと、今すべきことを進めていく必要があると考えている。できるだけこういった会議を開くことで、学校の経営に活かしていきたいと考えている。

(委員) 今までのものも大切にしながら、「新たなつながり」も大切にし、学校を核に様々な取り組みを進めていることが分かった。このまま取り組みを続けて欲しい。

(委員) 質問が2つある。セーフティパトロールは12月も実施か。参加したい。

(校長) 次回は12月1日に予定している。是非ご参加いただきたい。

(委員) ふれあい年賀便、世代間交流も中止になっている。

(校長) ふれあい年賀便は、新型コロナウイルス感染症の影響で”持っていくことが難しい”ということで中止となった。世代間交流も、新型コロナウイルス感染症が収まってから、ということだ。

5. 次回の予定

次回日程は、12月23日(木) 18:30～ 開催。

学校教育自己診断アンケートの結果集計をお伝えする予定。